

## CAPプログラムについて

現在CAPは、多くの幼稚園・保育園、小中学校、特別支援学校や児童養護施設等で実施されています。

### 子どもワークショップ…

子ども対象のプログラムです。クラス単位で実施します。年齢や障がいのニーズ等によってプログラムの内容や所要時間が違います。ロールプレイ（役割劇）を見たり参加したりなど、参加体験型の学習形態で自分の感じたことや考えたことを話し合いながら進めます。

一人一人が尊重されて楽しく暴力防止の具体的な方法を学びます。

### おとなワークショップ…（今回はこちらのワークショップです）

保護者や教職員、地域の人など、おとなを対象にしたプログラムです。

子どもと暴力についての正しい知識を知り、子どもの人権尊重とエンパワメントの支援のあり方について考えます。おとなワークショップは単独でも実施できますが、子どもワークショップを実施するには事前に教職員ワークショップと保護者ワークショップが必要です。

詳しくはJ-CAPTAのホームページをご覧ください。

## CAPおとなワークショップを受けた感想

劇を行いながら、わかりやすく説明してくれました。

子どもにとって、信頼し相談することが出来る人がいるというのが大切だな、聴き上手になれるよう意識して、子どもと接することが出来るようにしていきたいと思いました。



とても色々なことを考えられました。

子どもの話を聞く時に、つい大人の立場でのアドバイスをしてしまいがちなあ、と反省しました。これをきっかけに子どもと暴力について話をしたいと思いました。



参加できてよかったです。いじめだったり、性被害だったり、親として心配していました。もし自分の子どもが被害にあってしまったら、どのように対応したら良いかわからなかったので、わかるように話してくれて良かったです。



考えるきっかけになりました。



### \* 感染拡大防止への取り組み（J-CAPTA感染症拡大防止ガイドラインより）

体調に心配のある方、体調不良の方はお休みください。

マスクの着用をお願いします。

密集・密接を防ぐために、十分な広さの会場を確保し、定員を制限しています。

密閉を防ぐために、定期的に換気をします。

消毒液や除菌シートを配備します。

